

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

あらゆる災害に的確に対応する消防体制の確保はもとより、消防団や自主防災組織をはじめとした地域防災力の向上及び市民が安心・安全を実感できる施策に重点をおいて予算編成を行った。

主要な施策として、消防体制については、北消防署の移転整備工事のほか、経年防火水槽の補強・補修を行い、災害対応の拠点等となる施設の整備を着実に推進する。また、京都府及び府内消防本部と連携し、救急相談窓口として「救急安心センター事業」の運用を開始する。

予防対策については、火災発生時に自らの命を守る避難方法をVRや動画を活用し、事業所等に周知する。また、宿泊施設に対して火災通報装置の設置を新たに指導するほか、引き続き、民泊等への火災予防対策を推進する。

消防団に係る取組としては、地域防災の要である消防団の更なる充実強化を図るため、女性や若者をはじめとした入団を促進するほか、消防団活動機材としてアナログ無線をデジタル無線に更新整備する。

また、近年多発する自然災害にしなやかに対応するため、自主防災組織の活動を支援するとともに、幼少年への防災教育を推進するなど、将来の地域防災の担い手を育成する。

2 主な新規・充実事業

<政策的新規・充実事業>

救急安心センター事業	16,000 千円
VR・動画を活用した「命を守る避難」の周知・啓発	16,700 千円

<局枠等新規・充実事業>

救助隊の高度・専門化	2,500 千円
外国人への救急対応・防火防災指導の充実	1,000 千円
宿泊施設に対する火災通報装置の設置指導の推進	1,000 千円

3 消防局主要施策の概要

項目	主要施策の概要	本年度予算額	前年度予算額
< 消防局所管 >	一般会計合計	千円 23,154,000	千円 22,073,000
1 消防体制		22,321,600	21,331,500
消防対策	消防活動拠点施設の整備 北消防署移転整備 消防水利整備 防火水槽の補強・補修 消防自動車整備 消防ポンプ車、高規格救急車など 救助隊の高度・専門化 <新規> 救急安心センター事業 <政策> 救急高度化事業 メディカルコントロール体制の推進 応急手当の普及啓発 外国人への救急対応・防火防災指導の充実 <新規>	1,664,000 45,000 478,000 2,500 16,000 100,900 4,300 1,000	273,000 27,000 312,900 - - 99,500 4,500 -
予防対策	予防消防推進 VR・動画を活用した「命を守る避難」の周知・啓発 <政策> 宿泊施設に対する火災通報装置の設置指導の推進 <新規> 民泊等に対する火災予防対策の推進 など 文化財防火対策	67,000 4,200	53,000 4,500
2 消防団体制		816,300	715,500
消防団対策	消防団管理 消防団員退職報償金 消防団充実強化実行チームの活動支援 京都市ジュニア消防団の活動支援 など	316,900	291,000

(消防局-1)

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
		千円	千円
	消防団活動 消防団員報酬、消防団員手当	342,000	337,000
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	42,000	42,000
	消防団施設補助	25,000	25,000
	消防団車両整備	7,400	18,500
	消防団活動機材整備	83,000	-
3 自主防災組織の充実		16,100	26,000
自主防災組織の育成	自主防災組織の災害対応力の充実 幼少年期からの防災教育の充実 など	16,100	26,000